

総合資源エネルギー調査会原子力安全・保安部会耐震・構造設計小委員会  
地震・津波、地質・地盤合同WG Aサブグループ会合（第31回）  
議事要旨

1. 日 時：平成21年11月25日（水） 10:00～12:30

2. 場 所：経済産業省別館11階 第1120共用会議室

3. 出席者：衣笠主査、安達委員、吾妻委員、阿部委員、北川委員、古村委員、  
吉中委員

以上 7名

4. 議事要旨

(1) 新耐震指針に照らした既設発電用原子炉施設等の耐震安全性評価について（東海第二）

合同A31-2-2 東海第二発電所 基準地震動  $S_s$  の策定について（補足説明及びコメント回答）

- ・P12 コンラッド面深さについて、Zhao et al. (1992)を引用しているが、（文献では、地震波速度トモグラフィを実施する際の仮定条件としていないのではないか。）最新の文献で引用できるものが無いか確認する事。
- ・P11 地殻熱構造による検討において、 $Z_b$  をキュリー点深度としているが、それでよいか、再度確認すること。
- ・P27 微小地震について、「太平洋沿岸のところどころで発生」としているが、それらの地震規模についても整理すること。

(2) 新耐震指針に照らした既設発電用原子炉施設等の耐震安全性評価について（伊方）

合同A31-3 伊方発電所 基準地震動  $S_s$  の策定について（コメント回答）

- ・P39 経験的グリーン関数法（EGF）より統計的グリーン関数法（SGF）がふさわしいとの事でSGFの評価を行ったが、両者を比較した結果、工学的観点からEGFで代表させるという論旨で表現を整理すること。
- ・P31 ハイブリッド法における接続周期については、短周期側、長周期側それぞれで適用している手法の適用範囲、評価結果などを勘案の上、設定するものである。理論的手法の適用範囲を把握するため、理論的手法のパラメータを示すこと。

合同A30-1-3 耐震設計審査指針の改訂に伴う四国電力株式会社伊方発電所3号機耐震安全性に係る中間報告の評価について（案）

事務局より評価書案を説明。本日の四国電力のコメント回答に係る審議内容を踏まえて修正をするとともに、各委員確認の上、次回会合までにコメントを承ることとなった。

以上